

大月市賑わいづくり社会実験 企画書 (案)

事業の名称	街なか魅力発見事業（回遊性創出事業）
事業の目的	1. 市民及び登山客・ハイキング客（年間20万人）を商店街（街なか）に誘導し、来街者の満足度を向上させながら、市内外からの経済効果を高める。 2. 観光資源の発掘及び魅力向上と、その観光資源と商店街との関連性・融合性を高め、市民による街づくりを進めて行く。
主体	商店街、学生、NPO、行政、一般（小俣 孝）
対象	来街者（①登山・ハイキング客 ②観光客）、市民
期間	平成23年6月～11月
内容	1. 街なかの散策マップを作成し、駅前から既存商店街への回遊を図る ①観光客や駅利用の市民が、新しくなった駅前に滞留するだけでなく、既存商店街への回遊性を高めるように誘導する。 ②商店街の賑わいづくりを実現するために、来街者に満足を得られるような商品、大月のみやげ、ユニークな店を調査して掲載する。 ③話題のメニューや、大月メニューも取り上げ紹介する。 ④大月の見どころや史跡、富士山ビューポイントその他新たに発掘する名所もマップに入れる。 ⑤出来上がったマップを、市内商店や書店で配布または販売する。 ⑥マップばかりではなく、説明看板や道案内を作成し設置する。 2. かくれた見どころの発掘と大月神社めぐり ①行政指導のもと古文書に出てくる「菊花山清水場」を調査、復元し歴史的見どころとして広くPRする。 大月駅から5分と近く「大きなツキをもたらす」というストーリーと併せて説明し、来街者に喜びを与える。 ②大月の地名の発祥の地である三嶋神社をはじめ、大月の街なかには神社が5社あり、多くは櫨の大木に覆われている。パワースポットとしてラッキーシティのこれらの神社をコースで紹介し、神社めぐりによって大きなツキがあることをPRする。 3. 調査隊ミステリーショッパー（モニター）による満足度調査 ①市内外よりミステリーショッパーを公募（100名程度）し、マップ中の観光スポットや購入商品の評価を実施（アンケート調査またはインターネットへの書き込み）する。 ②調査結果を整理・分析し、必要に応じマップの変更と商品の見直しを行なう。
作成する資料	
概算費用	
目標	1. 街なか散策マップにより回遊性を図る。 2. 目玉となる、観光スポットの発掘と新商品開発を実現する。 3. 市内外者による、ミステリーショッパー（モニター）を100人組織化し、来街者の満足度を調査し、来街者のリピート率の向上を図る。
評価項目	1. 商店街（個店）の売上・集客数 2. 観光客の満足度（観光スポット、購入商品、接客態度等） 3. ミステリーショッパー、ネットへの書き込み評価（満足件数、クレーム件数）
その他	・ 社会実験後の平成24年度以降における継続事業 1. 大商協のなかでミステリーショッパー（大月ファンの会）会員組織を運営する。運営費用は、趣旨に賛同する個店から会費を徴収する。 2. 発掘した観光資源をいかにPRするかが課題。